



## 水害後の水稲栽培は？ —水稲栽培講習会—



熱心な質問が出た講習会

昨年9月の水害後、今年の水稲栽培に不安をもっている生産者が多いことから、2月25日に結城地域農業改良普及センター、結城地域農業改良推進協議会共催で「関東・東北豪雨後の平成28年産水稲栽培講習会」を開催し、生産者、関係機関等41名が出席しました。

講習会では、水害を受けたほ場における今年の水稲栽培の注意点等を専門技術指導員から説明するとともに、普及センターからは、被害地域における今年の水稲調査予定等について説明しました。さらに、普及センターから管内で発生が拡大しつつあるイネ縞葉枯病の発生状況及び防除対策について情報提供しました。

質疑応答では、出席者からの質問に丁寧に答え、今年の水稲栽培への不安の払拭につながる講習会となりました。

結城地域農業改良普及センターは、今後も水害からの早期復旧を支援していきます。



## 鬼怒4Hクラブ員の取り組みが評価 茨城県農業青年プロジェクト実績発表会

2月1日、茨城県庁において、「平成27年度茨城県農業青年プロジェクト実績発表会」が開催され、管内の若手農業者である鬼怒4Hクラブの大久保謙氏（八千代町）が優良賞・県農林振興公社理事長賞を受賞しました。



大久保 謙氏



優良賞・県農林振興公社  
理事長賞を受賞

大久保氏は、「規模拡大に向けたナシ品種‘幸水’の摘心処理と一文字整枝の導入」と題し、ナシの省力栽培技術導入について発表しました。大久保氏は、審査委員からの質問にも落ち着いて受け答えをしていました。

大久保氏の取り組んだ内容は高く評価され、7月に長野県で開催される関東ブロックの実績発表会へ出場することとなりました。

地域を担う活力ある若手ナシ生産者として、今後ますますの活躍が期待されます。

# 茨城県そば共進会で 県知事賞受賞！

結城市の茂田正治氏が「平成27年度第26回茨城県そば共進会」で県知事賞を受賞しました。

本県ブランド品種「常陸秋そば」栽培において、経営の主である養豚から出る副産物を活用して土づくりに努めるとともに、農薬を使用しない安全・安心なそばづくり、蕎麦屋との契約栽培、ホームページでの販売、地元有志らによるそば会での消費拡大などが評価されました。



写真右端：茂田正治氏

## 野菜の病害虫の特性を学ぼう！



病害虫の防除を学ぶ

3月2日、結城普及センターで第10回農業学園アグリ講座及び閉講式を開催しました。

講座では、普及センター職員が、結城地域で栽培が盛んな野菜の栽培概要について紹介した後、各野菜に発生する主な病害虫の生態や防除方法について説明しました。受講生からは、「べと病菌はどのくらい生存するのか」「病気になった作物の残さはきれいに取った方が良いのか」などの質問が出ました。

実習では、病原菌のプレパラートを作成して観察したり、害虫を実体顕微鏡で観察しました。

今年度の講座は今回で最終回を迎えました。来年度も新規就農者の知識習得のための講座開催を予定しています。

## 新規就農者・定年帰農者 情報募集

身近にいらっしゃいませんか？

普及センターまで情報をお寄せ下さい。

## 露地ナス～天敵農薬でアザミウマ類の被害を軽減～

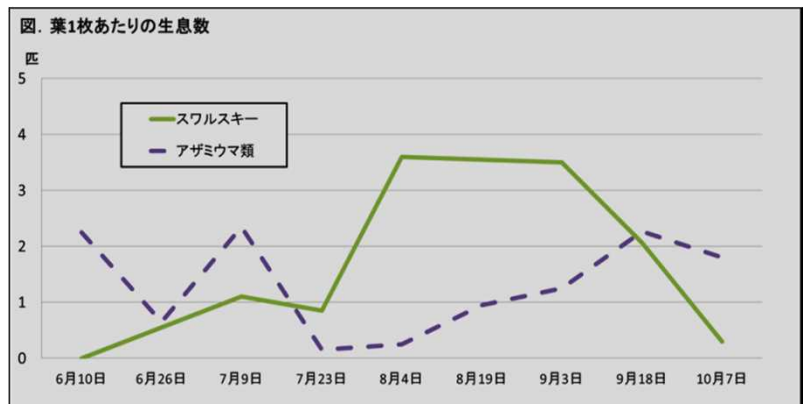
JA北つくば結城園芸部会茄子部では、今年度、アザミウマ類の防除対策として、露地ナスに登録拡大された天敵農薬（スワルスキーカブリダニ剤）の効果確認試験に取り組みました。

天敵放飼後は、天敵への影響を考慮して農薬・展着剤を散布しなければならないため、農薬の選択に大変苦労しましたが、天敵に影響の少ない農薬を散布することで天敵昆虫が順調に定着・増殖し、アザミウマ類の密度を低く抑えることができました。その結果、農薬散布回数を削減してもアザミウマ類の被害を軽減できることが確認できました。

茄子部では来年度も試験を行う計画であり、普及センターでは天敵農薬を活用した栽培技術の確立を支援していきます。



天敵放飼作業の様子



図：葉1枚あたりの生息数